

「丸の内上空に癒しを基本とした施設の提案」

Proposal for a healing-based facility in the sky above Marunouchi, Tokyo.

佐藤信治<sup>1</sup>, ○藤巻拓也<sup>2</sup>  
Shinji Sato<sup>1</sup>, \*Takuya Fujimaki<sup>2</sup>

In recent years, the number of people suffering from mental illness in Japan's stressful society has been increasing and has become a social problem. Due to the outbreak of the new coronavirus, going out etc. has been restricted and there is a social need for places to relieve stress. Especially in Japan's capital, Tokyo, there is extremely little nature and no place to relax. There is a need for facilities to relieve stress and get away from everyday life.

We have identified three types of healing places: first, facilities that physically heal the body, such as saunas, spas and massages; second, facilities that provide spiritual healing, such as meditation and zen; and third, nature, represented by forests and oceans. The first type of facility for physical healing has already been deemed necessary and sufficient due to the recent sauna boom, which has led to the opening of many new and existing facilities. In this proposal, we will design a healing space that incorporates the second type of healing, spiritual healing, and the third type of healing, nature.

1. はじめに

近年、日本ではストレス社会で心を病む人が増加しており、社会問題となっている。新型コロナウイルスの流行により外出等は制限され、ストレス解消の場が社会的に求められている。特に我が国の首都東京に於いては、極端に自然が少なく息を抜く場所がない。ストレス解消や日常から離れられる施設が求められている。

テーションや禅などを行う精神的な癒しを与える施設である。3つ目は、森や海などに代表される自然である。1つ目の物理的な癒しを与える施設においては、昨今のサウナブームによる新規出店や既存施設が多数存在し、既に必要十分であると判断した。本提案においては、2つ目の精神的な癒しと3つ目の自然を取り入れた癒し空間を設計していく。

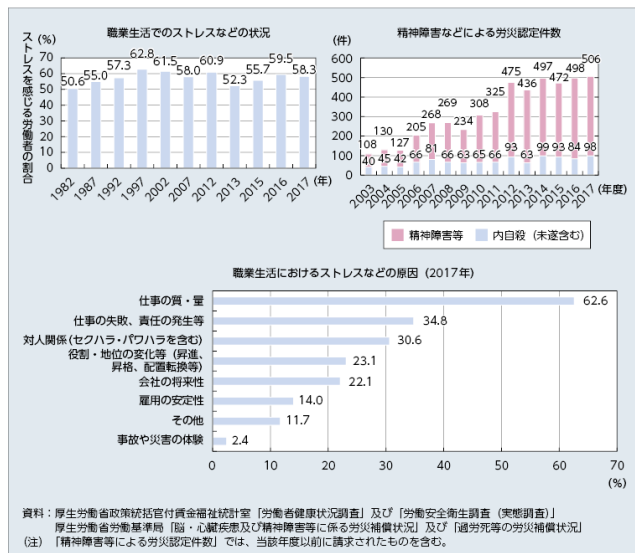


Figure 1 Stress and other situations in work life<sup>[1]</sup>  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/18/bac kdata/01-01-02-24.html>

癒しを与える場所は3種類に分類されると考えた。1つ目は、サウナやスパ、マッサージに代表されるような物理的に体を癒す施設である。2つ目は、メディ

2. コンセプト

「都会で働く人へ、癒しの空間を提供する。」

3. 想定敷地

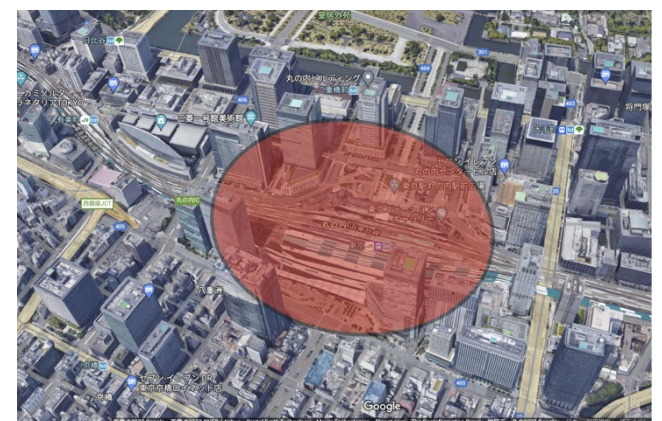


Figure 2 Site (e.g. for a project)<sup>[2]</sup>  
東京駅を中心とする半径 500m 円周上

4. メインターゲット

本社や官庁など日本経済の大動脈で働くストレスフルな人間

1 : 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.  
2 : 日大理工・学部・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

## 5. 敷地選定理由

東京丸の内・八重洲にはメガバンクの本店や日本を代表する大企業の本社が集中している。また、徒歩圏内の永田町には国会議事堂や官庁街が広がっている。さらに、サラリーマンの聖地「新橋」や丸の内同様に本社機能が集中している「品川」も電車で10分圏内に位置している。このようにメインターゲットである層が働いている場所からのアクセスが容易であることから、敷地を東京駅円周上と設定した。

## 6. 計画概要

東京駅を中心とした円周上のオフィスビルに癒し機能を有した橋形状の構造体を浮かせる。オフィスビルから直結して癒し空間にアクセスでき、手軽に癒しを得ることができる。早朝・朝・昼・夕方・夜・平日・休日それぞれの時間帯に合致した空間を設計する。時間帯ごとに居心地良い空間を設計することで、多くの人の癒しニーズに対応する。



Figure 1 Architectural design images (photo: Dubai project)<sup>[3]</sup>

## 7. 建築計画

### 7-1. 静寂の森

音は音源から離れると減衰していく。丸の内上空に設計することで、地上の騒音はなくなり図書館レベルの静けさが担保される。東京湾からの風により木がざわめく音だけが流れる。高気密に造られ常に冷暖房設備の音が聞こえる高層ビルから屋外に解放されることで、自分では気づきにくい外的要因のストレスからも解放される。

### 7-2. 太陽の広場

芝生で造形された丘である。太陽光が十分に入るように設計され、朝にはヨガが行え、ランチタイムには

ご飯を食べる場所としても利用される。都会には貴重な屋外の芝生空間となる。

### 7-3. ジャズライブラリー

書店ではなく自由に閲覧可能な図書館が丸の内にはない。パリの有名書店 Shakespeare and Company のように、夜にはジャズセッションが行われたり、夜遅くまで営業したりすることでサードプレイス的な居心地の良さを提供する。

### 7-4. 昼寝の小路

仮眠が取れるハンモック形式の椅子が並んでいる小路である。橋上の至る所に設置され、気軽に利用が可能である。昼休みのリフレッシュに昼寝利用したり、残業中の仮眠に利用したり、気分転換を図れる場所となる。

7-5以降の機能については現在検討中である。随時機能を追加していく予定。

## 8. 参考文献

[1] 厚生労働省, “平成30年版厚生労働白書—障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に 図表1-2-24 職場生活でのストレスなどの状況”, 厚生労働省, 2018,

<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/18/backdata/01-01-02-24.html>, (参照 2022-09-21)

[2] Google, “Google マップ”, Google マップ, 2022, <https://www.google.co.jp/maps/@35.682707,139.7755616,121a,35y,270h,39.14t/data=!3m1!1e3?hl=ja>,

(参照 2022-09-21)

[3] Satomi Kanno, “世界で最も高いドバイの高層ビルブルジュ・ハリファを取り囲む空中都市が誕生?”, HYPEBEAST, 2022,

<https://hypebeast.com/jp/2022/8/dubai-architects-conceptualize-new-structure-around-burj-khalifa>, (参照 2022-09-21)